

教育委員意見交換会

日 時 令和 7 年 3 月 24 日(月曜) 午後 3 時 30 分～午後 5 時 5 分

場 所 堺市役所 本館 3 階大会議室

出席者 関百合子教育長 鈴木真由子委員 新谷奈津子委員 長田翼委員 大内秀之委員

(事務局)櫻田浩樹教育次長

伊藤修士教委総務部長

井村美穂教育センター所長 品川隆一能力開発課長

渡邊耕太学校教育部長 高橋康浩学校保健体育課長

橋本 宏司学校改革推進室長 川端 健人学校改革推進室参事

居谷達矢教育政策課長 森本恭明教育政策課課長補佐 楠本奈央子教育政策課企画係長

案 件

- ・令和 6 年度中学生チャレンジテスト(中学校 1、2 年生)の結果について
- ・いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について
- ・令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
- ・堺が進める「新たな学校のあり方」の理解促進に向けた取組について
- ・次期堺市教育振興基本計画策定に関する報告及び進捗状況について

・令和 6 年度中学生チャレンジテスト(中学校 1、2 年生)の結果について

令和年 7 年 1 月 9 日に実施した大阪府中学生チャレンジテスト(1、2 年生)の本市の結果概要について説明。

(主な意見)

- ・ 同じ教科でも中学 1 年生と中学 2 年生の得点の分布図を比較するとそれぞれの傾向が異なるが、データからどのようなことが読み取れるのか。
- 分布図の傾向は問題の難易度によって左右される。そのため、学年間を比較した場合に、集団の中で伸びがあったのかを図ることは難しい。今回の結果と IRT 調査を掛け合わせることで、個人の伸びを分析することが可能である。
- ・ 英語は大阪府の平均とほぼ同様の分布となっている。英語以外の教科は大阪府の平均と比較した場合に学力低位層の割合が高いことから、英語は比較的よくできていると思われる。
 - ・ 学習以外で 1 日 2 時間以上のスマートフォンやタブレットを使用する生徒の割合が大阪府平均よりも高く、学習に向けられる時間が少ないのではと懸念する。
- 本市における近年の傾向であり、教育委員会事務局としても課題認識を持っている。

・いじめ重大事態調査委員会委員の委嘱について

堺市いじめ重大事態調査委員の任期満了に伴い、次期委員を委嘱するにあたり、現在の調整状況を説明。

(主な意見)

- ・ 特になし

・令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について

「令和 6 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果概要及び分析結果について報告。

(主な意見)

- ・ こどもの豊かなスポーツライフの実現のために幅広く体力というものを捉えるとのことだが、どのようなことをさすのか。
- 実技に関する調査の結果に見られる回数や記録等だけでなく、こどものスポーツを楽しむ気持ちの面も大切であると考えており、体力を技能面だけでなく幅広い視点で研究を進めたいと考えている。
- ・ 1 週間の総運動時間について、小学 5 年生では男子の方が女子よりも 2 倍近く長い結果だが、中学 2 年生の男女間で差がないのは、部活動の存在が大きい。部活動はこどもの運動時間の底上げに寄与していると言える。
- ・ 都心部と都心部以外では、こどもの通学距離や学校の運動場の大きさに違いがあるため、こどもの運動機能にも影響があるかもしれない。

・堺が進める「新たな学校のあり方」の理解促進に向けた取組について

堺が進める「新たな学校のあり方」の理解促進に向けた取組指針(保護者・市民向け)や、参考事例集(学校向け)の内容について説明。

(主な意見)

- ・ 取組指針について、保護者や市民の方に手に取って読んでもらいやすいように工夫されている。参考事例集にも共通するが、さらに読み手が理解しやすいよう、文章を可能な限り減らすことや、写真の大きさやピクトグラムの使用等、文字以外でも分かりやすいような工夫をより考えてほしい。
- いただいた意見を踏まえ、さらに効果的に伝わるよう検討する。
- ・ 他自治体からの視察事例があることを紹介する等し、本市の取組が客観的に注目されていることもアピールしてはどうか。
- 令和 6 年度は、広報さかいのほか本市ホームページに取組内容等を掲載する等、本市取組のPRを進めた。令和 6 年 11 月には報道関係者向けにモデル事業の合同取材会を企画し、新聞紙面や SNS 等で記事として取り上げてもらった。今後も引き続き、本市の取組を分かりやすく情報発信するための工夫は行う。

・次期堺市教育振興基本計画策定に関する報告及び進捗状況について

第 3 期未来をつくる堺教育プラン(令和 3~7 年度)の計画期間終了に伴う、次期堺市教育振興基本計画の策定について、現在の進捗状況を報告。

- ・ こどもが当事者として関わるのはすごく良いことだと思う。プラン策定の過程で本市がこどもの意見を大切にしていることを積極的にアピールしてほしい。
- ・ 最終的には紙冊子での作成や配布を考えているのか。
- ペーパーレスの観点からも紙媒体の冊数は前回よりも減らす予定としており、電子データでも読みやすく、読む人が分かりやすいような見せ方や工夫等を今後も検討したい。
- ・ こどもの意見聴取や教育委員会事務局と学校教員の合同ワーキングのほか、保護者や地域の方にも、新たなプラン策定の取組過程を見てもらうことも大切だと思う。
- 公開形式で一般の方も傍聴が可能な懇話会を通じて、作成過程を知ってもらいたいと考えている。